side 1 はじめにお読みください

このたびは、リーマン・チャイルド＆ジュニアシートをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用の前には、必ず本書をお読みの上、記載された内容に従って正しくお使いください。
この取扱説明書は、２枚で構成されています。お読みになった後も紛失されないように大切に保管（座面側面の収納ポケット）し、必要に応じてお読みください。

LEAMAN

C56-1

取扱説明書 保証書付

年少者用補助乗車装置 G Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

商品名 ロングフィット

型式：1024A

- ●本装置は「汎用」年少者用補助乗車装置です。 本装置は車両で一般的に使用するものとして、規則 No.44 の 04 改訂シリーズに基づいて認可されており、一部を除いて大抵の車両のシートに適合します。
- ●車両メーカーの車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると記載されていれば、装置が正しく取り付けられることはほぼ確実です。
- ●本装置は、認可された車両が UN/ECE 規則 No.16 または同等の基準で認可された 3 点式／巻取り装置なし／巻取り装置付き安全ベルトを装備している場合のみに適しています。
- ●本年少者用補助乗車装置は、この注意書きが貼付されていない従来の設計よりも厳しい条件に基づいて「汎用」装置に分類されています。
- ●疑問があるときは、年少者用補助乗車装置のメーカーか販売店にご相談ください。

A-1 もくじ

本書の見方
●もくじ右表記の「1、2、3、4」は取説各面左上の番号を表します。
●もくじ内容に沿って、説明見出し（A-1,A-2・・・）の順でお進みください。

A-2 表示マークについて

●この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。

本製品は、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
また、本製品を使用するときは、必ず保護者の方が同乗してください。

マーク	内容
⚠警告	記載内容を守らないと生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。
⚠注意	記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
✕ ⊘	図示されている内容の禁止を示しています。
Check	安全のため、かならず確認していただきたいこと。
アドバイス	より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。

A-5 シートベルトの種類と使用上の注意

車種適合につきましては当社サイトにてご確認いただくか、本製品販売店にてご相談ください。URL : www.leaman.co.jp

本装置は車両が 3 点式／巻取装置なし／巻取装置付座席ベルトを装着している場合に使用できます。

●車両には、各種のシートベルトが装備されています。 それぞれの特徴も違い、取り付け方法も変わってきます。
本製品を正しく安全に使用するために、お客さまの車両(シートベルト)に合った取り付け方法で装着してください。

⚠警告
2点式シートベルトには取り付けできません。

●車両シートベルトの種類　（○：取り付け可能　×：取り付け不可　※：下表参考）

	巻取装置有り							巻取装置無し
	ELR付		ALR付		NLR付		パッシブ	
	肩側	腰側	肩側	腰側	肩側	腰側		
3 点 式	○	×	※	※	○	○	×	○

●取り付け可能なシートベルト

	特　徴	本装置の取り付け注意点：チャイルドモード	本装置の取り付け注意点：ハイバックモード／ブースターモード
ELR・ALR 付 3 点式シートベルト（チャイルドシート固定機構付ベルト巻取装置）	通常は ELR ベルトとして機能しますが、ベルトを全量引き出すと ALR 機能に切り替わり、戻す方向にベルトが自動的にしまるシートベルトです。また、ベルト全量戻したときには ELR 機能に戻ります。	本製品をロックオフレバーでしっかりと固定してから、シートベルトを全部引き出し、ALR 機能に切り換えてください。 ⚠注意 取り付けの際は、装着車両の取扱説明書もお確かめください。	シートベルトを全量引き出すと ALR 機能が働き、危険ですので、ALR 機能を使用しないでください。
ALR 付 3 点式シートベルト（自動ロック式ベルト巻取装置）	ベルトを引き出す途中で手を止めると自動的にベルトがロックされ、それ以上引き出せません。	本製品を固定するのに必要なだけの長さを一気に引き出してから、本製品をロックオフレバーでしっかりと固定してください。	本製品を固定することができません。
ELR 付 3 点式シートベルト（緊急ロック式ベルト巻取装置）	通常は、ベルトが自由に出入りし、衝撃（急ブレーキなど）を感知したときに、ベルトがその時点で伸びなくなりロックされます。	肩ベルトをロックオフレバーでしっかりと固定してください。	ゆっくりとシートベルトを引き出し、取り付けてください。
NLR 付 3 点式シートベルト	ロック機構がなく、ベルトを全量引き出した状態で長さを調節します。	巻き取り装置から全量引き出し、本体の取り付けに合わせシートベルトの長さを調節し、固定します。	本製品に合わせシートベルトの長さを調節し、取り付けてください。
パッシブシートベルト	座席に乗ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にシートベルトが外れるタイプのシートベルト。	本製品を固定することができません。	本製品を固定することができません。
その他のシートベルト	表記載されていないものすべて。	本製品を固定することができません。	本製品を固定することができません。

A-3 各部の名称

ご使用前に、各部品がそろっているかご確認ください。
なお、使用方法などをわかりやすく説明するために、この取扱説明書で使用しているイラストは、実際と異なる場合があります。

●ご使用前に、「保証書（取説 4 -末尾）」に次の項目を記入してください。
①シリアルNo.　（座面の底面部に貼ってあるシールに記載されています）
②お客さまのお名前・ご住所・電話番号　　③販売店名
●領収書（レシート）を本書と一緒に保管してください。

アドバイス ●お子さまのいたずら防止のため、アジャスターレバーは見えにくい場所にあります。

A-4 お子さまの体重にあわせた使い方

お子さまの体重に合わせ、3 つのモードで使用します。

体　重	9kg 以上～18kg 以下	15kg 以上～25kg 以下	22kg 以上～36kg 以下
身長のめやす	70～105cm	98～120cm	117～145cm
年齢のめやす	1才頃～4才頃	3才頃～7才頃	6才頃～11才頃
モード	チャイルドモード	ハイバックモード	ブースターモード
使用状態			
使用方法	本製品を車両シートベルトで座席に取り付け、本製品の幼児ベルトでお子さまを拘束します。	幼児ベルトは使用せず、車両シートベルトでお子さまを拘束します。肩が上段ベルト通し穴より低く体重が 18kg 以下の場合はできる限りチャイルドモードを使用することをおすすめします。	幼児ベルトやバックルを収納し、背もたれも取りはずして座面のみで使用します。車両シートベルトでお子さまを直接拘束します。
取り付け説明	2 C-1～ 3 C-4参照	3 D-1～ 4 D-10参照	4 E-1～E-4参照

⚠警告 ●「身長のめやす」や「年齢のめやす」は、あくまでもめやすですので、もし身長や年齢が上記条件を満たしている場合でも、「体重条件」を満たしていないお子さまは、そのモードではご使用できません。

A-6 取り付けできない座席

⚠警告 車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。

●シートベルトの付いていない座席。

●2 点式シートベルトの座席。

●座席の奥行きが 43cm 以下の座席。

●シートベルトのバックルが座席の中央寄りについている座席。

●車両バックルの位置が高く、本製品を固定できない座席。

●エアバッグが装備されている座席。（サイドエアバッグのみの場合は使用できます。）

●3 点式シートベルトで上下取り付け部が共に巻取り式の座席。

●パッシブシートベルト（座席に乗ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にシートベルトが外れるタイプのシートベルト。）のついた座席。

●車両進行方向に対し、後向きおよび横向きの座席。（衝突の際にショックを吸収できません。）

●本製品を取り付けた際に、運転に支障を及ぼす車両座席、及び前部中央座席。（万一のとき乗員の安全が確保できません。）

●極端なバケットタイプなどの座席。（取り付けた本製品が安定しません。）

●座席の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。

●その他、本製品を固定できない座席。

A-7 安全にお使いいただくために

緊急時には・・

衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。

■チャイルドモード時

バックルのプレスボタンを押し、タングプレートをはずします。
幼児ベルトをお子さまからはずしお子さまを救出してください。

■ハイバック／ブースターモード時

車両バックルのプレスボタンを押してシートベルトのロックを解除し、お子さまにかかっているシートベルトを外します。

アドバイス プレスボタンを押しても、タングプレートがはずれない場合は鋭利な刃物で幼児ベルトを切断してお子さまを救出してください。

アドバイス 車両バックルのプレスボタンを押しても、タングプレートがはずれない場合は鋭利な刃物で車両シートベルトを切断してお子さまを救出してください。

⚠警告 ＊記載内容を守らないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

●本製品は取扱説明書どおりに固定してください。

●腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。

●お子さまの不特定な行動により、ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。

●車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。

●本製品のバックルをはずしたままでのご使用は危険ですので絶対におやめください。

●エアバッグが装備されている座席には使用しないでください。作動したエアバッグにより、大きな衝撃を受け危険です。

A-7 安全にお使いいただくために

⚠警告 ＊記載内容を守らないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

●本製品を助手席に取り付けたとき、本製品とシフトノブやサイドブレーキなどが干渉する場合があります。干渉する場合には助手席でのご使用をやめ、後部座席でご使用ください。

●お子さまを車内にひとりで放置することはおやめください。

●後部座席に人が乗る場合の 2 ドア・3 ドア車の助手席や、1BOX 車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取り付けないでください。

●保護者が各部分に触れて、やけどしないことを確認の上、お子さまを乗せてください。

●お子さまが、バックルのプレスボタンを押さないように注意してください。ときどきタングプレートがバックルからはずれていないことを確認してください。

●背もたれのみでは使用しないでください。

●衝突事故や製品を落下させるなど一度でも強い衝撃を受けた本製品は、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。

●お子さまが乗っていない場合、本製品はトランクに収納しておくか、車両シートベルトでしっかりと固定しておいてください。

●1 時間以上連続して使用しないでください。

●運転中に本製品の操作（ベルト調節・角度調節などの操作）をしないでください。

●本製品を改造したり、カバー類・ウレタンなどは取りはずして使用しないでください。

●シートカバーを外したまま使用しないでください。

●専用カバー以外は使用しないでください。（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります。）

●車の座席にクッションや座布団を敷いたまま、取り付けないでください。しっかり固定されません。

●本製品を保管する際には、強い衝撃を与えたり、屋外など日光が当たる場所に長期間放置しないでください。

A-7 安全にお使いいただくために

⚠注意 ＊記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

●お子さまを乗せる際には、本製品の取り付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。（確認は停車し、安全な状態で行ってください。）

●本製品を取り付ける際は、取り付ける車両のマニュアルを併せてお読みください。

●本製品にお子さまを乗せたまま車両への取り付け・取り外しはおやめください。

●車両シートベルト及び本製品のベルトを鋭利なもので傷つけないようにご注意ください。

●お子さまが本製品の上で立ち上がったり、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。

●本製品は車両以外でのご使用をおやめください。

●衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかり固定しておいてください。

●可動式シートまたは車両のドアに剛性部分（プラスチック部分等）がはさまれないように本製品を取り付けてください。

●お子さまの乗り降りの際など、本製品のアームレストの端に体重をかけると、転倒してケガなどをするおそれがあります。

●お子さまだけで乗り降りすると危険です。乗せ降ろしは必ず保護者の方がおこなってください。

●車両シートの材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますのでご注意ください。
本製品と車両シートが接する面にはタオルなどをあてて、ご使用ください。

■組み立て

本製品は「背もたれ」と「座面」がはずれた状態で梱包されています。
チャイルドモード(**本面**C-1 参照)や、ハイバックモード(**3** D-1 参照)で使用する場合、背もたれと座面を組み立てて使用します。

⚠注意

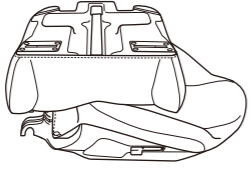
- ●組み立てる際は、製品の破損や床の傷つきを防ぐため、平らで柔かい床で作業してください。
- ●組み立てる際は、周辺の物や人に気をつけ、指などをはさまないように注意して行ってください。
- ●組み立てた本製品を持ち運ぶ際には、図のように持ち、背もたれと座面の間に指などをはさまないように注意してください。

※組み立てた本製品の背もたれと座面の接合部は前後に動きます。

●ベルトなどを、背もたれと座面の間にはさまないようご注意ください。

B-1 背もたれの取り付け方

背もたれの取り付け

1 梱包状態から座面をひっくり返し右図のようにし、幼児ベルトにねじれがないか確認する。

＊座面は横向き、裏返しに梱包されています。

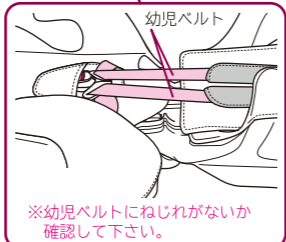
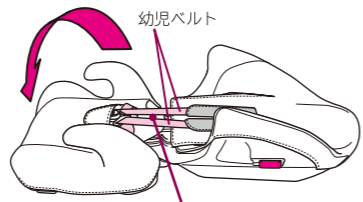
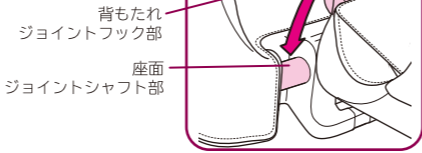
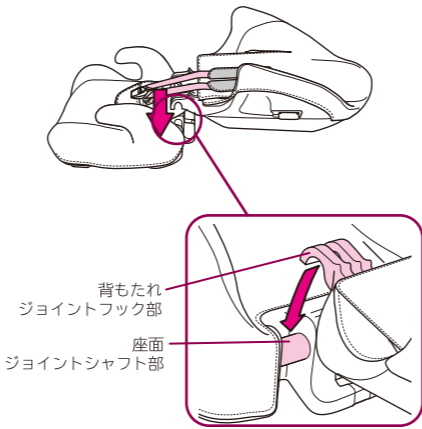
※幼児ベルトにねじれがないか確認して下さい。

2 背もたれ下部のジョイントフック部を座面の後部のジョイントシャフト部に上から差し込む。

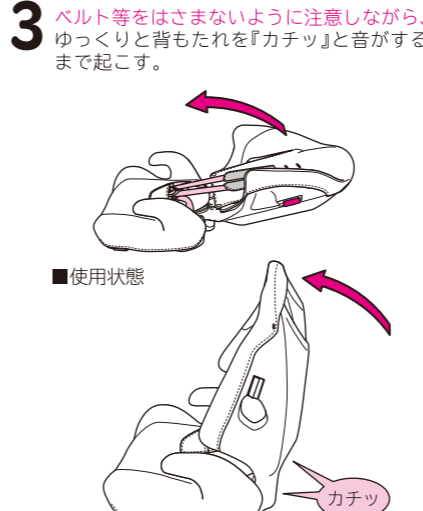
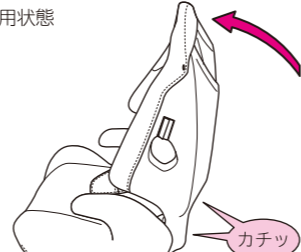
背もたれ
ジョイントフック部

座面
ジョイントシャフト部

3 ベルト等をはさまないように注意しながら、ゆっくりと背もたれを『カチッ』と音がするまで起こす。

⚠注意

ご使用前に、必ず次の内容を確認してください。
本製品が本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

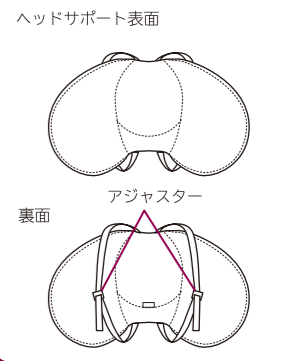
- ●お子さまを本製品に座らせる前に、背もたれと座面がしっかり接合されているかをご確認ください。
- ●本製品で使用する場合、アームレストの外側を幼児ベルトが通っていないかをご確認ください。
- ●幼児ベルト等が座面と背もたれのジョイント部にはさまれていないかをご確認ください。

＊取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。

背もたれの取りはずし

B-2 ヘッドサポートの取り付けと使い方

ヘッドサポートは、チャイルドモード(**本面** C-1参照)でのみご使用できます。お子さまの体形に合わせ任意にご使用ください。

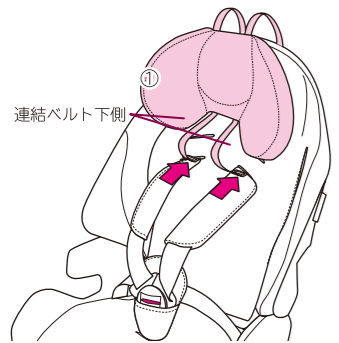
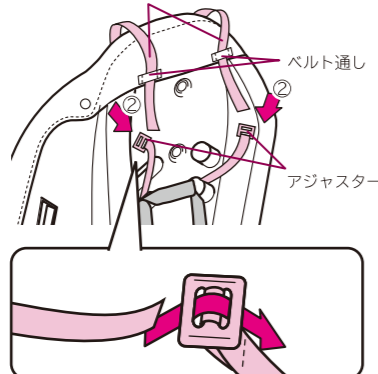
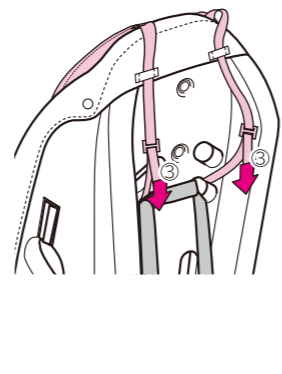
⚠注意

- ●ヘッドサポートは頭周りのクッションとして使用する部品ですが、体型によりお子さまが不快感を感じるようであれば、使用を中止してください。
- ●取りはずしたヘッドサポートは車内に放置しないでください。
  急ブレーキをかけたときやカーブを曲がる際、車内に転がり、運転に支障をきたすおそれがあります。
- ●本製品を持ち運ぶ際は、ヘッドサポートを持って運ばないでください。
  製品が落下し、製品の破損や床を傷つけるおそれがあります。
- ●ヘッドサポートは、この取扱説明書に記載されている使用方法以外では使用しないでください。

＊取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。

B-2 ヘッドサポートの取り付けと使い方

ヘッドサポートの取り付け

1 取り付ける方向に注意して、ヘッドサポートの連結ベルト下側を肩ベルト通し穴に通す。

＊連結ベルトは肩ベルトと同じ高さの肩ベルト通し穴に通してください。

2 連結ベルト上側をアジャスターに通す。

3 連結ベルト上側をたるみがなくなるまで引っ張る。

4 サイドクッションの位置を整える。

＊お子さまの顔の位置に合わせて、ヘッドサポートをスライドさせて、高さを調節してください。

④

＊取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。

ヘッドサポートの取りはずし

■チャイルドモードの使い方

C-1 使用前の準備

使用前の準備

体　重	9kg以上～18kg以下
身長のめやす	70～105cm
年齢のめやす	1才頃～4才頃
使用方法	本製品を車両シートベルトで座席に取り付け、本製品の幼児ベルトでお子さまを拘束します。

幼児ベルトの高さ調節

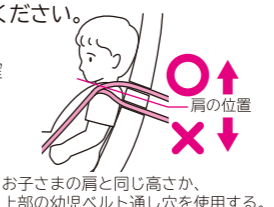
お子さまの肩の高さに合わせ、幼児ベルト通し穴の位置を決めてください。

1 幼児ベルト通し穴の位置を決める。
お子さまを本製品に深く座らせ、適切な幼児ベルト通し穴の位置を確かめる。

⚠警告

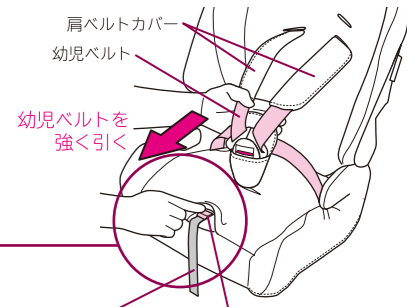
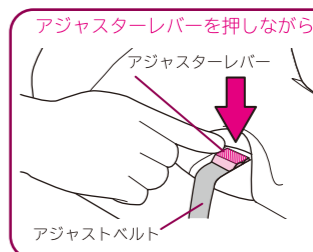
- ●幼児ベルト通し穴の位置は、お子さまの肩と同じ高さか、上部の幼児ベルト通し穴をご使用ください。
- ●左右同じ高さの幼児ベルト通し穴をご使用ください。

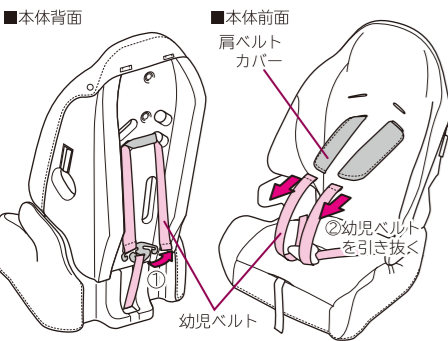
＊バックルの長さや位置は調節できません。幼児ベルトを調節してください。

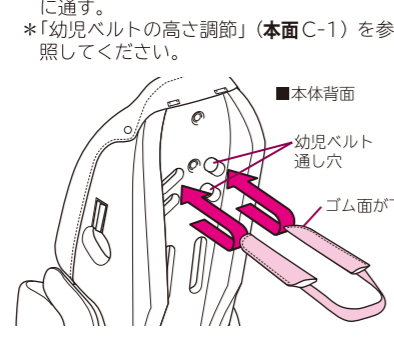
お子さまの肩と同じ高さか、上部の幼児ベルト通し穴を使用する。

お子さまの肩の高さに合わせて、幼児ベルトを調節します。

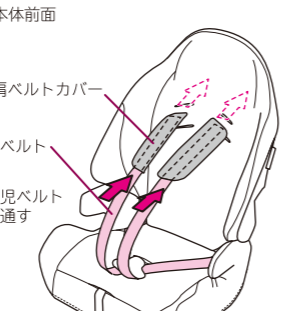
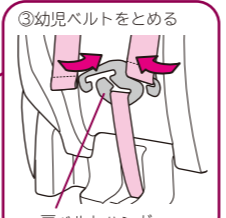
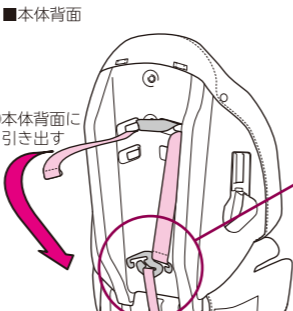
2 幼児ベルトを引き出す。
座面のシートカバーの下のアジャスターレバーの奥側を押しながら、左右両方の幼児ベルトを強く引き、すべて引き出す。

＊肩ベルトカバーではなく、幼児ベルトのみを引いてください。肩ベルトカバーは本体背面でつながっており引いてもゆるみません。
＊ヘッドサポートを使用中の場合は、はずす。
(**本面** B-2 参照)

アドバイス
- ●お子さまのいたずら防止のため、アジャスターレバーは見えにくい場所にあります。
- ●アジャスターレバーは、奥側を確実に押してください。
- ●アジャスターレバーが動かない場合は、アジャストベルトを手前に引きながら、アジャスターレバー奥側を強く押し込んでください。

C-1 使用前の準備

3 幼児ベルトを取りはずす。
①本体背面の肩ベルトハンガーから左右の幼児ベルトをはずす。
②肩ベルトカバーから幼児ベルトを引き抜く。
＊肩ベルトカバーではなく、幼児ベルトを引いてください。

⚠警告 必ず肩ベルトカバーを使用してください。

4 肩ベルトカバーの位置を変える。
①本体背面から肩ベルトカバーを左右片方ずつ引き抜き、一度取りはずす。
※左右の肩ベルトカバーは、本体背面で連結ベルトにてつながっています。
②肩ベルトカバーを適切な幼児ベルト通し穴に通す。
＊「幼児ベルトの高さ調節」(**本面** C-1)を参照してください。

アドバイス
●肩ベルトカバーが引き抜きにくいときは、本体正面から肩ベルトカバーの先端を幼児ベルト通し穴に押し込むようにし、本体背面から引き抜いてください。

5 幼児ベルトを取り付ける。
①幼児ベルトを肩ベルトカバーに、ねじれがないように通す。
②本体背面に幼児ベルトを引き出す。
③左右の幼児ベルトを肩ベルトハンガーに取り付ける。

C-2 車への取り付け方

取り付けの注意

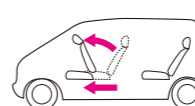
車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取り付けできない場合があります。
「取り付けできない座席」(**1** A-6)を参照してください。

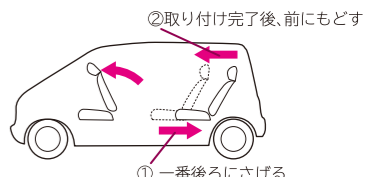
⚠警告

- ●車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。
- ●エアバッグ装備の座席には使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。
  ※サイドエアバッグのみ装備されている場合は使用できます。
- ●車両シートベルトに傷があると、万一のときにベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。その場合は他の座席に取り付けてください。
- ●車両シートベルト以外のひもなどでは固定しないでください。
- ●本製品を助手席に取り付けたとき、本製品とシフトノブやサイドブレーキなどが干渉する場合があります。干渉する場合には助手席でのご使用をやめ、後部座席でご使用ください。
- ●お子さまが乗っていない場合、本製品はトランクに収納しておくか、車両シートベルトでしっかりと固定しておいてください。
- ●後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取り付けないでください。

取り付ける前に

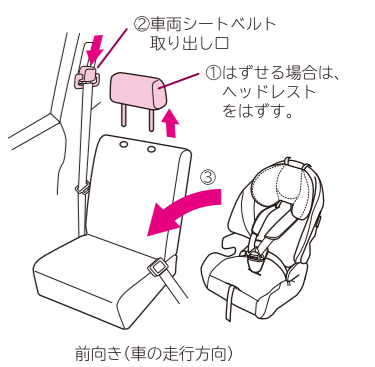
1 取り付け作業は、ドアを全開できる、平坦な場所でおこなってください。

2 作業スペース確保のため、車両前部座席を前にスライドさせ、前に倒してください。

アドバイス
●チャイルドモードの際、取り付ける座席にスライド機能がある場合、取り付けが完了した後、座席を前にスライドさせると、よりしっかりと取り付けができます。

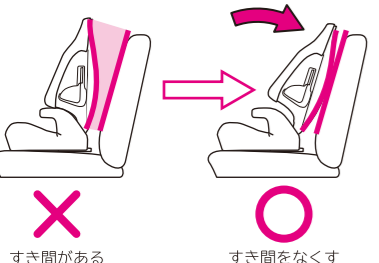
①本製品を取り付ける前に、取り付ける座席を一番後ろにさげます。
②取り付けが完了した後、取り付け座席を前にもどします。

座席の準備

1 本製品を正しく取り付けるため、車の座席を調節する。

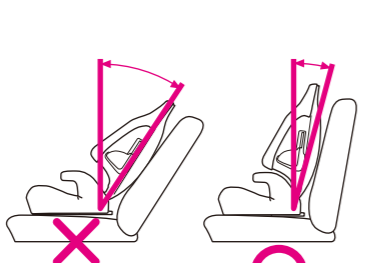
①座席のヘッドレストをはずせる場合は、はずす。
②車両シートベルトの高さが調節できる場合は、最下段まで下げる。
③本製品を前向きに置く。

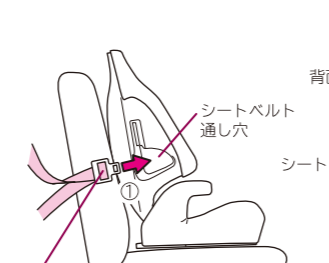
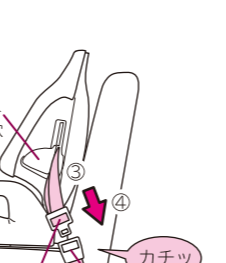
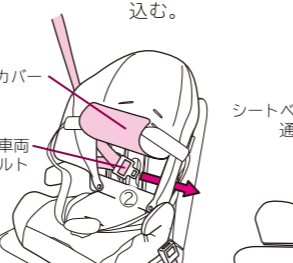
⚠注意
●取りはずしたヘッドレストは車内に放置しないでください。
急ブレーキをかけたときやカーブを曲がる際、車内に転がり、運転に支障をきたすおそれがあります。

C-2 車への取り付け方

2 車両の座席の背もたれと本製品との間に、すき間ができないよう調節する。

●車両の座席の背もたれがリクライニングできない場合は、座席との間にすき間ができないよう本製品の背もたれ角度を調節してください。

⚠警告 本製品と車両の座席との間にすき間があると、事故などの際、本来の機能を果たさず、危険です。

⚠警告

●座席の背もたれがリクライニングできる場合は、できるだけ起こしてご使用ください。
倒しすぎた状態で使用すると、事故などの際、本来の機能を果たさず、危険です。

車への取り付け方

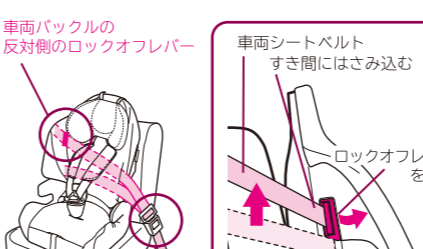
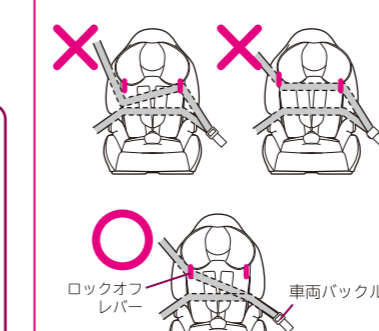
1 車両シートベルトを取り付ける。
①車両シートベルトにねじれが発生しないよう、ゆっくりと引き出し、シートベルト通し穴に通す。
②背もたれの背面カバーをめくり、車両シートベルトがねじれていないことを確認する。
③車両バックルのタングを反対側のシートベルト通し穴から出す。
④車両バックルに『カチッ』と音がするまで差し込む。

＊車両シートベルトにねじれがないこと

＊取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。

本製品の取りはずし

2 ロックオフレバーに車両シートベルト(肩側)をセットする。

①車両バックルと反対側のロックオフレバーを開いて、車両シートベルト(肩側)をはさむ。

※車両シートベルトはロックオフレバーのすき間の上まで通すこと。

⚠警告
●車両バックルの反対側のロックオフレバーのみを使用してください。

3 車両シートベルトのゆるみをなくし、本製品をしっかり固定する。

①座面の上から体重をかけて、本製品を車両座席に沈み込ませる。
②車両バックルの上の車両シートベルト(肩側)を強く引いて、車両シートベルト(腰側)のゆるみをなくす。
③ロックオフレバーの上の車両シートベルトを強く引いて、車両シートベルト(肩側)のゆるみをなくす。
④ロックオフレバーを手で押し込んで、車両シートベルトをしっかりはさむ。

アドバイス
- ●体重をかけて沈ませたまま、②と③を同時に、ゆるみがなくなるまで繰り返します。
- ●車両シートベルト(肩側)をしっかりロックするために、ロックオフレバーは必ず手で押し込んで閉めます。

C-3 チャイルドモードの取り付け完了チェック

チャイルドモードの取り付け完了チェック

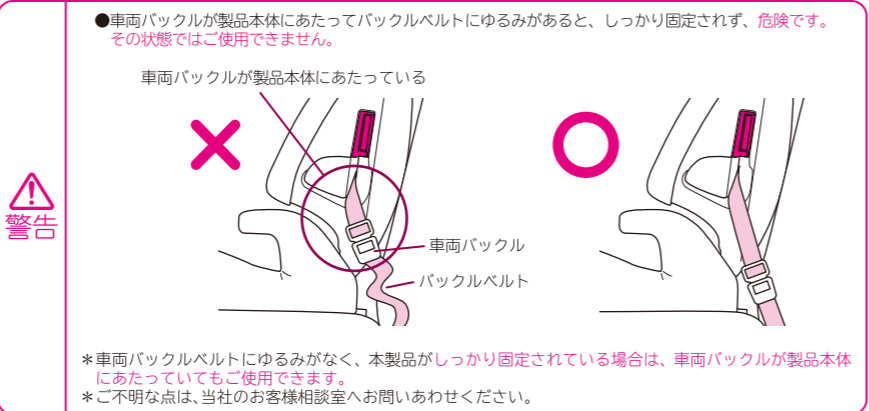
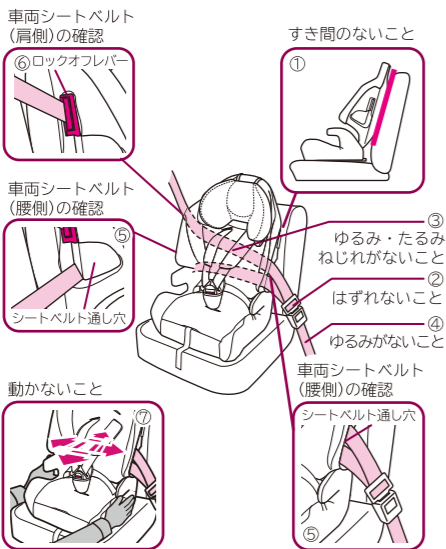
Check 取り付けが完了した後、必ず確認してください。

①本製品と車両の座席との間に大きなすき間がないこと。
②車両シートベルトのタングが車両バックルに確実に差し込まれていて、はずれないこと。
③車両シートベルトが強く張られ、ゆるみ・たるみやねじれがないこと。
④車両バックルベルトにゆるみがないこと。
⑤車両シートベルト(腰側)が左右のベルト通し穴の下にかかっていること。
⑥車両シートベルト(肩側)が、車両バックルと反対側のロックオフレバーで確実にロックされていること。
⑦座面を前後左右にゆすり、約 3cm 以上動かないこと。
※構造上、座面が上下に動く場合がありますが、使用上問題はありません。

警告

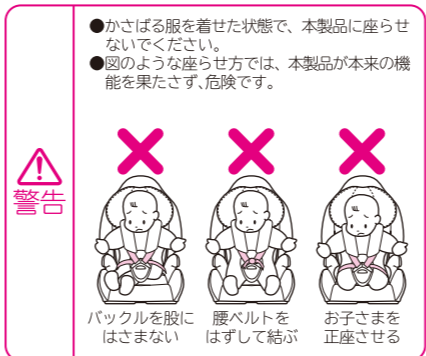
●車両バックルが製品本体にあたってバックルベルトにゆるみがあると、しっかり固定されず、危険です。その状態ではご使用できません。

車両バックルが製品本体にあたっている ✕ ○ 車両バックル バックルベルト

＊車両バックルベルトにゆるみがなく、本製品がしっかり固定されている場合は、車両バックルが製品本体にあたっていてもご使用できます。
＊ご不明な点は、当社のお客様相談室へお問いあわせください。

以上の項目をチェックして、しっかり取り付けられていない場合は、もう一度 2 C-2 の手順で取り付けをやり直してください。
やり直してもしっかり取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険です。

C-4 お子さまの座らせ方

お子さまの座らせ方

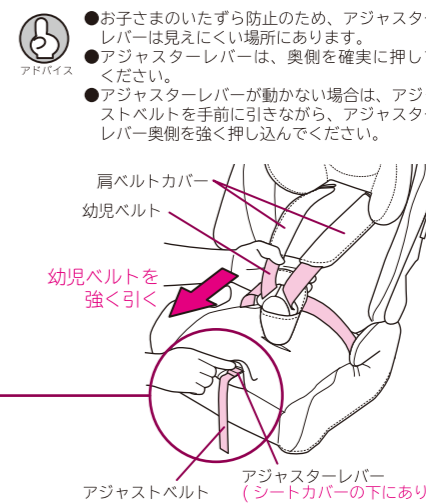
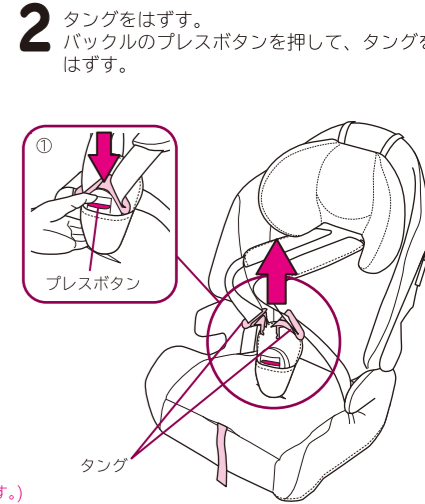
幼児ベルトの高さをお子さまの肩の高さに合わせてください。
※「幼児ベルトの高さ調節」(2 C-1) を参照してください。

警告
●かさばる服を着せた状態で、本製品に座らせないでください。
●図のような座らせ方では、本製品が本来の機能を果たさず、危険です。

1 幼児ベルトを引き出す。
座面のシートカバーの下のアジャスターレバーの奥側を押しながら、左右両方の幼児ベルトを強く引き、すべて引き出す。
＊肩ベルトカバーではなく、幼児ベルトのみを引いてください。肩ベルトカバーは本体背面でつながっており引いてもゆるみません。

警告 お子さまの着席のたびに、必ずアジャストベルトを引き、お子さまを拘束してください。

アドバイス
●お子さまのいたずら防止のため、アジャスターレバーは見えにくい場所にあります。
●アジャスターレバーは、奥側を確実に押してください。
●アジャスターレバーが動かない場合は、アジャストベルトを手前に引きながら、アジャスターレバー奥側を強く押し込んでください。

2 タングをはずす。
バックルのプレスボタンを押して、タングをはずす。

幼児ベルトを長くする（お子さまをおろすときは）
＊お子さまをおろすときは、1 と 2 の手順で行います。

C-4 お子さまの座らせ方

3 お子さまを座らせる。
①お子さまを座らせて、左右の腕を幼児ベルトに通す。
②タングを左右組み合わせて、バックルに『カチッ』と音がするまで確実に差し込む。

警告 ●保護者の方が各部分に触れ、やけどなどをしないことを確認してください。

アドバイス ●バックルのプレスボタンは、お子さまが誤って解除できないように固くしてあります。

③タングを引っ張り確実に差し込まれたことを確認する。

タング

警告
●左右のタングが、確実にバックルに差し込まれていないと、衝突の際などにお子さまが飛び出したり、幼児ベルトが首にかかり窒息するおそれがあります。
●バックル部分は異物が詰まったり、飲み物がかかると、ロックが確実にできなくなるなど故障の原因となります。

4 幼児ベルトを調節する。
①幼児ベルト(腰側)が腰骨のできるだけ低い位置にかかるように調整して、腰部に密着させる。
②幼児ベルト(肩側)が肩の真ん中にかかるよう調整する。
③アジャストベルトを引いて、幼児ベルトのゆるみをなくす。

＊幼児ベルト(腰側)は低く下げ、必ずお子さまの骨盤を拘束すること。

アドバイス
●幼児ベルトの拘束のめやすとしては、お子さまの鎖骨と幼児ベルトの間に指一本が入る程度が適切です。
●幼児ベルトをゆるめるときは、「幼児ベルトを長くする」(3 C-4)を参照してください。

警告
●幼児ベルトの長さは必ず調節してください。お子さまに密着していないと、衝突の際などにお子さまが飛び出したりするおそれがあります。
●幼児ベルトをたるんだ状態で使用すると、幼児ベルトがお子さまの首にかかり、窒息するおそれがあります。

■ハイバックモードの使い方

D-1 使用前の準備

使用前の準備

体　重	15kg以上～25kg以下
身長のめやす	98～120cm
年齢のめやす	3才頃～7才頃
使用方法	幼児ベルトは使用せず、車両シートベルトでお子さまを拘束します。付属のベルトポジショナーを使用して車両シートベルト(肩側)をお子さまの肩の位置に合わせます。(4 D-9 参照)

アドバイス ●肩が上段ベルト通し穴より低く、体重が 18kg 以下の場合はできる限りチャイルドモード (2 C-1 参照) でのご使用をおすすめします。

警告
●本製品は 3 点式シートベルト専用です。2 点式シートベルトでは使用できません。
●お子さまが座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。急ブレーキをかけた際など、車内に転がり、大変危険です。
●車両シートベルトがチャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を使用しないでください。お子さまが締め付けられ危険です。「シートベルトの種類と使用上の注意」(1 A-5)を参照してください。
●車両シートベルトがたるんだ状態で使用すると、ベルトがお子さまの首にかかり、窒息するおそれがあり、危険です。ゆるみがないか確認してからご使用ください。
●車両シートベルトに傷がある座席には取り付けないでください。

D-2 ハイバックモードへの変更の仕方

ハイバックモードへの変更の仕方

チャイルドモード (2 C-1参照) で使用していた幼児ベルト、バックル、肩ベルトハンガーは本体に収納します。取りはずさないでください。また、取り付け金具の位置を変更したり取りはずしたりしないで下さい。(**本面**D-3参照)

注意 ●本製品を車の座席から降ろしてから、モードの変更を行ってください。

バックルカバー、肩ベルトカバーの取りはずし

1 幼児ベルトを引き出す。
①左右のタングを組み合わせて、『カチッ』と音がするまでタングをバックルに差し込む。
②座面前方のシートカバー下のアジャスターレバーの奥側を押しながら、左右の幼児ベルトを手前に引き、ゆるめる。
＊肩ベルトカバーではなく、幼児ベルトのみを引いてください。肩ベルトカバーは本体背面でつながっており引いてもゆるみません。

アドバイス
●お子さまのいたずら防止のため、アジャスターレバーは見えにくい場所にあります。
●アジャスターレバーは、奥側を確実に押してください。
●アジャスターレバーが動かない場合は、アジャストベルトを手前に引きながら、アジャスターレバー奥側を強く押し込んでください。

＊取り付けは、取りはずしの逆の手順で行います。

D-2 バックルカバー、肩ベルトカバーの取りはずし

2 ①本体背面の肩ベルトハンガーから左右の幼児ベルトをはずす。
②幼児ベルトを肩ベルトカバーから引き抜く。
＊肩ベルトカバーではなく、幼児ベルトのみを引いてください。
③幼児ベルトをタングから引き抜く。

アドバイス ●本体正面から幼児ベルトをねじらないよう注意しながら、ゆっくり引き抜いてください。

3 ①バックルカバーをはずす。
②ヘッドサポートを使用中の場合は、はずす。(2 B-2 参照)

バックルカバー
※一度タングをはずしてください。
ヘッドサポート

4 本体背面から肩ベルトカバーを左右片方ずつ引き抜き、取りはずす。
※左右の肩ベルトカバーは、本体背面で連結ベルトにてつながっています。

■本体背面 肩ベルトカバー 連結ベルト

アドバイス ●肩ベルトカバーが引き抜きにくいときは、本体正面から肩ベルトカバーの先端を肩ベルト通し穴に押し込むようにし、本体背面から引き抜いてください。

注意 ●取りはずしたバックルカバー、肩ベルトカバーなどは大切に保管し、なくさないようにしてください。
●バックルカバー ●ヘッドサポート ●肩ベルトカバー

＊取り付けは、取りはずしの逆の手順で行います。
幼児ベルトの取り付け

D-3 バックルの収納

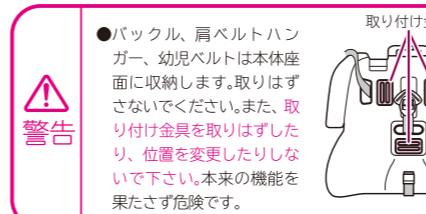
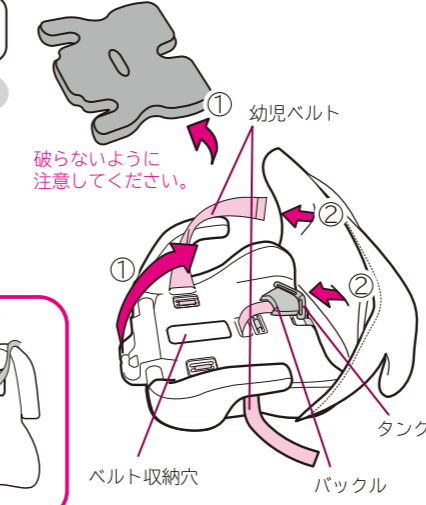
注意 ＊座面から背もたれを取りはずした状態(2 B-1 参照)で、作業を行ってください。

バックルの収納

1 ①背もたれを取りはずし、座面カバー・ウレタンを取りはずす。(4 G-2 参照)
②幼児ベルトとバックルをカバーから引き抜く。
＊バックルからタングを外し、カバーから引き抜いてください。引き抜いた後は必ずタングを差し込んでください。

警告
●バックル、肩ベルトハンガー、幼児ベルトは本体座面に収納します。取りはずさないでください。また、取り付け金具を取りはずしたり、位置を変更したりしないで下さい。本来の機能を果たさず危険です。

取り付け金具

破らないように注意してください。
① 幼児ベルト ② ① ② タング ベルト収納穴 バックル

2 ①バックルを座面中央のベルト収納穴から底側に通す。
②底の溝に合わせ、バックルをはめ込む。

警告 ●タングはバックルに差し込んだ状態にしてください。

＊取り出しは、収納の逆の手順で行います。
バックルの取り出し

D-4 肩ベルトハンガーの収納

肩ベルトハンガーの収納

①肩ベルトハンガーを底面にまわす。

②下側のアジャストベルトを肩ベルトハンガーのセンターのすき間に通す。

警告 肩ベルトハンガーのセンターのすき間を通るようにセットしてください。

③肩ベルトハンガーをバックルの上に重ねながら、アジャストベルトを引く。

警告 ●アジャストベルトはゆるみがないよう、充分引いてください。アジャストベルトがゆるんだ状態で使用すると肩ベルトハンガーがはずれ危険です。

警告
●収納方法を間違えると、本来の機能を果たさない、または車両シートを傷つけたりする事があります。**本面** D-3～D-4 の作業をもう一度確認し、正しくセットされているか確認してください。

✕ ベルトの通し位置が違う
✕ バックルの向きが違う
✕ 肩ベルトハンガーの位置が違う

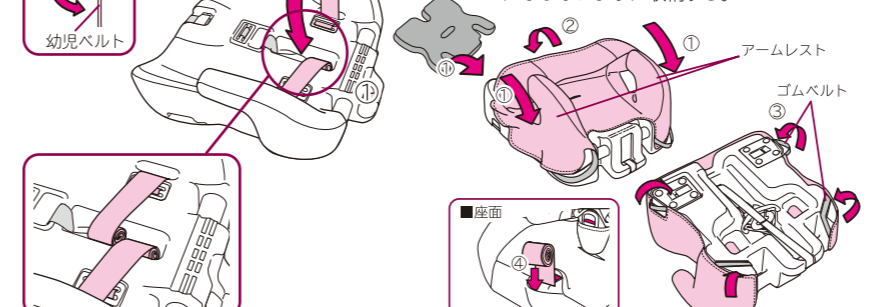
＊取り出しは、収納の逆の手順で行います。
肩ベルトハンガーの取り出し

D-5 幼児ベルトの収納

座面から背もたれを取りはずし、座面カバーを取りはずしてから(4 G-2 参照)作業を行います。

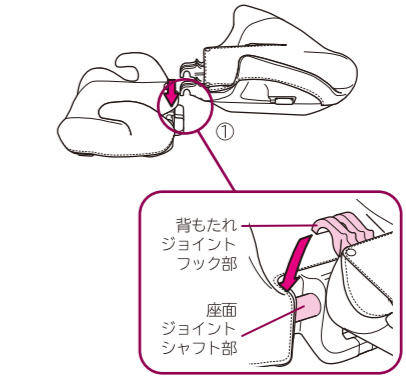
幼児ベルトの収納

1 幼児ベルトを巻き、座面中央のベルト収納穴に押し込む。

2 座面カバー、ウレタンを取り付ける。(4 G-2 参照)
①アームレストにカバー、ウレタンをかぶせる。
②座面カバー前方をかぶせる。
③4 箇所あるゴムベルトを座面の底にかける。
④アジャストベルトを巻き、カバーの中に邪魔にならないように収納する。

＊取り出しは、収納の逆の手順で行います。
幼児ベルトの取り出し

D-6 背もたれを取り付ける

背もたれを取り付ける

背もたれを取り付ける。(2 B-1 参照)
①背もたれ下部のジョイント(フック部) を座面の後部のジョイント(シャフト部)に上から差し込む。

②ゆっくりと背もたれを『カチッ』と音がするまで起こす。

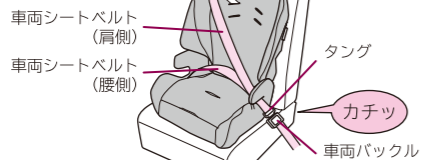
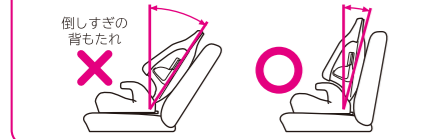
＊取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。
背もたれの取りはずし

D-7 車への取り付け方

車への取り付け方

1 ①座席のヘッドレストをはずせる場合は、はずす。
②車両シートベルトの高さが調節できる場合は、ベルトポジショナーと同じか少し高い位置に調節する。
（**本面** D-9 参照）

⚠警告
●座席の背もたれがリクライニングできる場合は、できるだけ起こしてご使用ください。倒しすぎた状態で使用すると、衝突の際などにお子さまの体が車両シートベルトの下をすり抜けたり、首にベルトがかかるおそれがあり、大変危険です。

2 本製品を車両の座席に置いて、車両シートベルトを引き出す。
①車両シートベルト（肩側）をベルトポジショナーに通す。（4 D-9 参照）
②車両シートベルト（腰側）を左右のアームレスト下側のベルト通し位置に通す。
③車両バックルにタングを『カチッ』と音がするまで差し込む。

⚠警告 ●ベルトポジショナーはハイバックモードで使用します。ブースターモード、チャイルドモードでは使用しないでください。

⚠注意 ●お子さまが乗っていないときも、固定しておいてください。

D-8 お子さまの座らせ方

お子さまの座らせ方

以下の点に注意し、本製品に深く座らせてください。

⚠警告
●本製品は車両シートベルトで固定していない状態では不安定なため、お子さまが 1 人で乗り降りすると転倒などによりケガなどをするおそれがあります。必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。
●図のような座らせ方では、本製品が本来の機能を果たさず、危険です。

体を左右どちらかに傾けて座る。　立てひざ・中腰・正座などをする。　前かがみになる。のけぞる。

⚠注意 ●座面と背もたれの間に衣服をはさむおそれがあります。ご注意ください。

一度タングをはずしておき、お子さまを深く座らせ、車両シートベルトを引き出して、車両バックルにタングを『カチッ』と音がするまで差し込む。

タング　カチッ　車両バックル

＊車両シートベルト（腰側）は、腰骨のできるだけ低い位置にかかるよう調節して、腰部に密着させてください。

⚠警告 ●お子さまの腕は必ず車両シートベルトの上に出してください。

D-9 ベルトポジショナーの取り付けと調節の仕方

車両シートベルトがお子さまの肩の高さに合うように必ずベルトポジショナーを使用してください。

ベルトポジショナーの取り付け方

①ベルトポジショナーのベルトをベルトポジショナー通し穴に通す。
②ベルトポジショナーをベルトの輪にくぐらせて引っぱり、固定する。
③左右一方の上段の肩ベルト通し穴と背もたれカバーを通し、ベルトポジショナーを正面側に出す。

⚠警告 ●車両バックルの反対側にベルトポジショナーを出してください。

＊取り付けた根元が動かないように穴の一番上で固定してください。

ベルトポジショナーの調節の仕方

お子さまを深く座らせ、肩の高さに合わせてベルトポジショナーの位置を調節する。

長さの変え方

ベルトポジショナーの正しい位置
ベルトポジショナーを肩と同じ高さになるように調節する。

✕低すぎる　○肩と同じ高さ　✕高すぎる

肩位置

⚠警告 ●ベルトポジショナーの不適切な高さでの使用は危険です。必ずお子さまの成長に合わせた高さに調節してください。

D-10 ハイバックモードの取り付け完了チェック

ハイバックモードの取り付け完了チェック

Check お子さまを座らせ、車両シートベルトを締め、①～⑥を必ず確認してください。

①本製品と車の座席との間に大きなすき間がないこと。
②車両シートベルト（肩側）が、ベルトポジショナーを通り、お子さまの首にかかっていないこと。また、確実に肩にかかっていること。
③車両シートベルトがお子さまの体に密着していて、ゆるみ、たるみ、ねじれがないこと。
④車両シートベルト（腰側）がお子さまの腰骨のできるだけ低い位置にかかっていること。
⑤車両シートベルトのタングが車両バックルに確実に差し込まれていて、はずれないこと。
⑥車両シートベルトが左右のアームレスト下側のベルト通し位置を通っていること。

⚠警告
●以上の項目をチェックして、しっかり取り付けられていない場合は、もう一度 4 D-7～D-9 の手順で取り付けをやり直してください。やり直してもしっかり取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険です。
●お子さまを座らせたとき、後頭部が背もたれ上端より上に出る場合はハイバックモードでは使用しないでください。衝突などの際、本来の機能を果たさず危険です。ブースターモードでご使用ください。

■ブースターモードの使い方

E-1 使用前の準備

使用前の準備

体　重	22kg以上～36kg以下
身長のめやす	117～145cm
年齢のめやす	6才頃～11才頃
使用方法	幼児ベルトやバックルを収納し、背もたれを取りはずして座面のみで使用します。車両シートベルトでお子さまを直接拘束します。

アドバイス ●体重が 22kg 以上～25kg 以下のお子さまは、ブースターモードでも使用できますが、車両シートベルト(肩側)がお子さまの首にかかる場合があるため、ハイバックモード(3 D-1 参照)でのご使用をおすすめします。

⚠警告
●本製品は 3 点式シートベルト専用です。2 点式シートベルトでは使用できません。
●お子さまが座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。急ブレーキをかけた際など、車内に転がり、大変危険です。
●車両シートベルトがチャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を使用しないでください。お子さまが締め付けられ危険です。「シートベルトの種類と使用上の注意」(A-5)を参照してください。
●車両シートベルトがたるんだ状態で使用すると、ベルトがお子さまの首にかかり、窒息するおそれがあり、危険です。ゆるみがないか確認してからご使用ください。
●車両シートベルトに傷がある座席には取り付けないでください。
●本製品は車両シートベルトで固定していない状態では不安定なため、お子さまが 1 人で乗り降りすると転倒などによりケガなどをするおそれがあります。必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。

E-2 ブースターモードへの変更の仕方

ブースターモードへの変更の仕方

●チャイルドモードから変更する場合、先に 3 D-2～D-5の作業を行います。
●ハイバックモードから変更する場合、座面から背もたれを取りはずします。（ 2 B-1参照）

車への取り付け方

1 ①座席のヘッドレストをはずしている場合は、取り付ける。
②車両シートベルトの高さが調節できる場合は、最下段まで下げる。

⚠警告
●座席の背もたれがリクライニングできる場合は、できるだけ起こしてご使用ください。
倒しすぎた状態で使用すると、衝突の際などにお子さまの体が車両シートベルトの下をすり抜けたり、首にベルトがかかるおそれがあり、大変危険です。

2 座面を車の座席に置いて、車両シートベルトを引き出す。
①車両シートベルト（腰側）を左右のアームレスト下側のベルト通し位置に通す。
②車両バックルにタングを『カチッ』と音がするまで差し込む。

⚠注意 ●お子さまが乗っていないときも、固定しておいてください。

E-3 お子さまの座らせ方

お子さまの座らせ方

一度タングをはずしておき、お子さまを深く座らせ、車両シートベルトを引き出して、車両バックルにタングを『カチッ』と音がするまで差し込む。

＊車両シートベルト（腰側）は、腰骨のできるだけ低い位置にかかるよう調節して、腰部に密着させてください。

⚠警告
●お子さまの腕は、必ず車両シートベルトの上に出してください。

E-4 ブースターモードの取り付け完了チェック

ブースターモードの取り付け完了チェック

Check お子さまを座らせ、車両シートベルトを締め、①～⑥を必ず確認してください。

①車の座席のヘッドレストが取り付けられていること。
②車両シートベルト(肩側)がお子さまの首にかかっていないこと。また、確実に肩にかかっていること。
③車両シートベルトがお子さまの体に密着していて、ゆるみ、たるみ、ねじれがないこと。
④車両シートベルト（腰側）がお子さまの腰骨のできるだけ低い位置にかかっていること。
⑤車両シートベルトのタングが車両バックルに確実に差し込まれていて、はずれないこと。
⑥車両シートベルト(腰側)が左右のアームレスト下側のベルト通し位置を通っていること。

⚠警告 ●以上の項目をチェックして、しっかり取り付けられていない場合は、もう一度 **本面** E-2～E-3 手順で取り付けをやり直してください。やり直してもしっかり取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険です。

■チャイルドモードへの戻し方

F-1 幼児ベルトと肩ベルトハンガーの取り出し

幼児ベルトと肩ベルトハンガーの取り出し

ハイバックモード(3 D-1 参照)やブースターモード(**本面** E-1 参照)から、チャイルドモード(2 C-1 参照)に戻す場合、座面に収納されている幼児ベルトと肩ベルトハンガーを取り出し、セットします。

1 ＊ハイバックモードの場合、座面から背もたれを取りはずす。
座面カバーを取りはずし(**本面** G-2 参照)、バックル、幼児ベルトの取り付け金具が正しい位置にセットしてあるか確認する。
幼児ベルトをベルト収納穴から取り出す。

⚠警告 ●取り付け金具を取りはずしたり、位置を変更したりしないで下さい。本来の機能を果たさず危険です。

2 座面を裏返し、肩ベルトハンガーをはずす。

⚠注意 ＊座面から背もたれを取りはずした状態で(B-1 参照)、作業を行ってください。

アドバイス
●肩ベルトハンガーがはずれにくいときは、アジャスターレバーの奥側を押しながらアジャストベルトをゆるめてからはずしてください。
●肩ベルトハンガーの座面への収納の仕方は、3 D-4 を参照してください。

3 バックルを溝からはずし、ベルト収納穴を通して表に出す。

4 ①バックルと幼児ベルトを座面カバーの穴に通す。
②座面カバーとウレタンを取り付ける。
③バックルカバーを取り付ける。

F-2 幼児ベルトの取り付け

幼児ベルトの取り付け

チャイルドモード(2 C-1 参照)で使用する場合、背もたれに幼児ベルトを取り付けます。

1 ①本体背面から、肩ベルトカバーをお子さまに適切な幼児ベルト通し穴に通す。
＊「幼児ベルトの高さ調節」(2 C-1）を参照してください。
②肩ベルトカバーを背もたれ正面に引き出す。

■本体背面
肩ベルトカバー　ゴム面が下　連結ベルト

⚠注意 ＊この作業は本体が不安定な状態になりますので、座面から背もたれを取りはずした状態で(2 B-1 参照)、作業を行ってください。

＊ここからの作業は、バックルカバーと背もたれを取り付け（ 2 B-1参照）てから、行います。

2 ①幼児ベルトを左右の差込タングに、ねじれないように注意しながら通す。

⚠警告 必ず肩ベルトカバーを使用してください。

②幼児ベルトを肩ベルトカバーに、ねじれがないように通す。
③幼児ベルトを本体背面に引き出す。

④左右の幼児ベルトを肩ベルトハンガーに取り付ける。

＊ヘッドサポートはお子さまの体形に合わせて任意に取り付けてください。(2 B-2 参照)

■お手入れの仕方

G-1

ヘッドサポートの取りはずし

「ヘッドサイドサポートの取り付けと使い方」(2 B-2)を参照してください。

幼児ベルトの収納と取り付け

「ハイバックモードへの変更の仕方」(3 D-2) を参照してください。
「幼児ベルトと肩ベルトハンガーの取り出し」(**本面** F-1)を参照してください。

背もたれカバーの取りはずし

あらかじめ、幼児ベルトを引き抜き(3 D-2 参照)、座面から背もたれを取りはずしてから(2 B-1 参照)、シートカバーを取りはずします。

①背もたれにある左右 2 ヶ所ずつ計 4 ヶ所のホックをはずす。
②背もたれカバーを取りはずす。

＊取り付けは、取りはずしの逆の手順で行います。　背もたれカバーの取りつけ

G-2

座面カバーの取りはずし

①座面を裏返してゴムベルトをはずす。

ゴムベルト　ゴムベルト

②座面を表にし、座面後方からアームレストカバーを取りはずし、座面カバー全体を取りはずす。
③ベルト通し穴から幼児ベルトとバックルを引き抜く。

アームレスト　幼児ベルト　バックル　幼児ベルト

＊取り付けは、取りはずしの逆の手順で行います。　座面カバーの取りつけ

G-3

洗濯方法

シートカバーなどの縫製製品の洗い方
●肩ベルトカバー・シートカバー・バックルカバーは中性洗剤を使用して水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
●脱水はさけ、タオルなどで押し絞りし、風通しのよい日かげに干してください。

※蛍光増白剤を含まない洗剤を使用してください。
※洗濯機、脱水機、乾燥機は使用しないでください。

日常のお手入れ方法

●樹脂部は水または、から拭きしてください。
●掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
●飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
●ガソリン・シンナーのご使用は、表面の生地や樹脂をいためますので、絶対におやめください。

⚠警告 ●中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあり危険です。

H 保管／廃棄の仕方／製品仕様

保管

本　体
長期間使用しない場合は、車から降ろし、お子さまの手が届かず、風通しの良い場所で直射日光を避けて保管してください。

取扱説明書
ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、座面カバー側面のポケットに保管してください。(1 A-3 参照)

廃棄

●お住まいの各自治体の規定にしたがって処分、廃棄してください。
●衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は、外見に破損がなくても絶対に使用しないでください。処分する場合は、本製品が再利用されないようシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

製品仕様

製品サイズ：W440×D460×H660
製品重量：
本　　体…4.6kg
総　重　量…5.9kg
材　質：
本　　体…PE
シートカバー…表／ポリエステル　裏／ウレタン

保　証　書

LEAMAN チャイルド＆ジュニアシート

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。 お買い上げの日から下記保証期間中に製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社お客様相談室、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証期間	お買い上げ日より１年間（ただし保証規定による）
商品名	
シリアルNo.（座面の底面部に貼ってあるシールに記載されています）	
お買い上げ日	年　月　日
お客様	ご住所（〒　　）TEL お名前
販売店	住所（〒　　）TEL 店名

●お買い上げ後、商品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。

保証規定
1. このチャイルド＆ジュニアシートの保証期間は、お買い上げ日より１年間です。
2. 保証期間内に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
3. 保証期間内であっても次のようなものは有料修理になります。
・落下等の衝撃によるプラスチック部品の破損。
・シートカバー等、縫製部品の傷や破れ。
・お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
・火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障及び損傷。
・本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
・本書のご提示がない場合。
・一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
・有料修理の場合に要する運賃等の諸経費。
4. 一度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
5. 衝突事故等、一度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

万一故障が生じました場合は保証書をご提示ください。本書は、再発行いたしませんので、大切に保管してください。
この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、当社お客様相談室、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

リーマン株式会社
〒496-0911 愛知県愛西市西保町南川原 68-1
お客様相談室 TEL.(0567)27-0173
受付時間 月曜日～金曜日(祝日・弊社指定休日は除きます)AM10:00～12:00 PM1:00～5:00

※製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたらお客様相談室へご連絡ください。
※製品の性能向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。